

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

2000.3.27 N5109



## 2000年春闘勝利! 第一波スト報告

二〇〇〇年春闘勝利、定年延長一五五歳以降の労働条件改善、強制配転粉砕一三・二三春闘第一波スト総決起集会在千葉市蘇我・勤労プラザ大ホールにおいて開催され、第一波ストライキに決起した、検修関係・営業関係の組合員を中心に、三二〇名が結集し、今春闘の課題である、大幅賃上げ獲得一貨物ベアゼロ回答粉砕、「シニア制度」粉砕に向けた闘いの第一歩を勝ちとった。

集会は、繁沢副委員長の開会ではじまり、冒頭あいさつに起った、中野委員長が二〇〇〇年春闘の獲得すべき指針を全体に示したあと(要旨別掲)、来賓として、解雇撤回を勝ちとった

(中野委員長あいさつ要旨)

### 焦点は貨物〇回答打破!

### 悪辣極まりない「シニア制度」

日本の労働運動をめぐる現状・動向をみたとき、二一世紀にどう労働者の闘いの道をつくっていくのか、二〇世紀最後の、今、二〇〇〇年春闘は重要な位置を持つている。全体情勢は、連合の一要求に象徴されているように、最高五〇〇円〇〇回答と三年連続史上最低の賃上げ率であり、連合傘下の七八労働組では賃上げ要求すら出さないなど、ここに今の現状があらわれている。資本主義の危機的状況である今日こそ、リストラに

### 展望を切り拓く闘いを!

特別報告では、貨物から、超低額回答打破に向けて、君塚副委員長が登壇し、「貨物では、検修の業務委託や小名木川駅の縮小、新小岩操車場の業務委託

### 日貨労働者一貨物から勝利の

東京一般MC型鋼労組分会・五日市前委員長、中江船橋市市議会議員、水野勝浦市市議会議員よりあいさつを受け、この第一波ストが、全国の労働者に総決起を訴える手段であることが熱く訴えられた。  
続いて、再審査での勝利を目指す、勝浦地労委闘争の報告を、遠藤弁護士より受けた。

た。施設の全廃など、全体で四分の一ぐらいの人数となっている。九三年から七期連続の赤字一

次年度事業計画では黒字計画となつてはいるが、本心では黒字にならないと思つてはいる。支出を減らす一諸経費削減とは賃金を抑えるということだ。しかしこの赤字構造は、労働者が作った赤字ではない。分割・民営化が作った赤字であり、相手にとつてもアキレス腱だ。分民体制との対決、日貨労働倒壊なくして労働条件の獲得もない。旅客とともにJR体制と闘っていく」と闘いの報告を行い、第二波ストでは貨物から決起し、勝利の展望を拓くために、粘り強い闘いを継続していくことが表明された。

など、久しぶりに頭にきた。十年前分民の嵐をかいぐつた労働者に、六〇歳になつたら差別・選別し、組合が違うとか、試験をするとか、人のやる道ではない。口では国鉄改革を言うが、こういうやり方にJR東日本の末期症状があらわれている。悪辣極まりない「シニア制度」の本質を明らかにし、どう闘っていくのか今春闘の柱のひとつであり、戦術も強化しながら労働組として意思表示をあきらかにしていく。二〇〇〇年をどう闘い、どう団結を強めていくのか問われている。必ずや敵に一泡吹かせる闘い一破局寸前のJR体制を打破していく闘いを組織していく。



集会は、最後に各支部代表、分科会から決意表明を受け、今春闘勝利に向けて意志統一がなされた。いざ第二波ストライキに総決起しよう!

日刊三月二四日付け五一〇七号を五一〇八号が正規のため訂正します。